



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030 植田 進 ☎047-487-9754
伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



八千代市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第514号
2021年7月26日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田
312-5

五輪中止を求め6月議会で意見書提出

東京オリンピック開会日の7月23日直前まで、様々な不祥事が露呈し、菅首相をはじめオリンピック組織委員会の橋本会長は、「申し訳ありません」と反省の弁を繰り返しました。

しかし、多くの国民が望んでいるのは、緊急事態宣言が発出されているもとの、オリンピックを直ちに中止することではないでしょうか。

6月議会最終日の7月6日、日本共産党と三田議員は、内閣総理大臣及びオリンピック担当大臣宛てに、「東京オリンピック・パラリンピックの中止を求める意見書」を提出しましたが、質疑・討論の機会が設けられているにもかかわらず、質疑も討論もなく、日本共産党と三田議員の賛成者少数にて否決となりました。

誤ったメッセージを送り続ける菅自公政権

緊急事態宣言を出しながら、数十万人にのぼる巨大イベントは、様々な場面で感染拡大のリスクを抱えているのです。

東京都では、新規感染者が連日1000人を超え、第5波は、変異株への置き換わりで、これまでにないスピードで感染者を増やし続けています。「このままでは、医療崩壊を招きかねない」との専門家から警鐘が鳴らされています。

さらに、「バブルで、安全・安心の大会」という政府、東京都、IOCの言い分とは裏腹に、選手村内でのアスリートの感染をはじめ、大会関係者の感染が連日明らかになり、すでに120名(7月24日現在)を超えています。

「五輪より命が大切」の立場で、中止の決断を

「多くの人の命にリスクをもたらしながら、なぜ五輪を開催しなければならないのか。」この根本的な問いかけに、菅首相は、こたえられないままです。その一方で、「五輪を中止することは簡単だ。」とつぶいている菅首相に、「ならば中止せよ」との声を突きつけようではありませんか。

子どもたちは、運動会が中止となり、修学旅行もなくなるなど、子どもたちの成長の機会が失われているのに、「五輪は開催なの」との疑問とともに不満と怒りの声が寄せられています。

日本共産党は、「五輪より命」「五輪を中止しコロナ対策に万全を」と訴えています。国民の命と健康を最優先に、今後とも奮闘する決意です。

●発議案に賛成の議員 = 伊原忠、堀口明子、飯川英樹、植田進、三田登

●発議案に反対した議員 = 嵐芳隆、小澤宏司、澤田新一、西村幸吉、花島美記
林隆文、伊東幹雄、江野澤隆之、辰己百恵、成田忠志
林利彦、木下映実、正田富美恵、末永隆、立川清英
緑川利行、大澤一治、塚本路明、宮内鋭、河野慎一
山口勇、菅野文男